

【市からのまとめ】

- 本当ならもっと多く時間をかけて話し合いをさせていただければよいのだが、本日は十分時間がないため、何かあれば、わたしの提案や、また、津久井総合事務所には地域自治区事務所があり、津久井建設課、津久井経済課、津久井環境課に職員を配置しているので相談をしていただければありがたい。
- 市道宮原中野の改良工事については、20年来の課題であり、時間がかかり過ぎており、皆さまのおしかりは良く分かるので、とにかく用地取得に一生懸命取り組んでいきたい。
- 地元のご協力をいただけるとのことなので、あとは予算を調整し、なるべく優先する課題として取り組んでいきたい。
- 稲生地区の河川の崖崩れについては、県が急傾斜地崩落危険区域に指定し、200メートルぐらい大がかりに崩落防止工事を行うとのことである。
- これから調査設計をして工事に入るとのことなので、少し時間がかかると思うが、市も強く要請し続けていくので、今後もよろしく願いしたい。
- 津久井広域道路については、旧市域と津久井地域の一体化を促進するという大きな役割がある。
- 津久井地域と旧市域の人・物・情報の動きを加速する支えになると思うので、重要課題として取り組みたい。
- また、根小屋地区の秩序あるまちづくりを進めていくためにも、津久井広域道路を県道65号（厚木愛川津久井）までをとにかく早く整備してもらい、それ以降は、平成21年度の都市計画決定に向けて、地元の皆さまのご理解をいただきながら準備を進め、国道412号まで早く接続させる考え方で進めていきたい。
- ここで課題になるのは、市道との円滑な接続である。
- お話のように様々な課題があり、地域の皆さまとこれから十分な話し合いをしていく必要があるので、今後もよろしく願いしたい。
- 今日すべての答えが出るわけではないが、皆さまのご心配していることは十分受けとめることができた。
- また、面的な整備も必要になるので、土地区画整理事業等について地権者の皆さまと話し合いを進め、住宅地域としての開発、あるいは産業用地としての開発を進めていきたいので、今後ご相談させていただきたい。
- さがみ縦貫道路の2つのインターチェンジ、津久井広域道路、リニア中央新幹線、小田急多摩線の延伸、新交通システム、いずれも将来の相模原市を形づくっていく大きな骨格であるが、まず相模原市が広域的な拠点都市になることが非常に重要だと思う。
- 相模原市は政令指定都市になろうとしているが、相模原市だけでまちづくりをできるわけではない。
- 横浜市、川崎市はポテンシャルとして港や空港があるが、悲しいことに相模原市にはそういうものはない。
- 内陸都市として発展していくためには、やはり70万で勝負しようと思わないで、200万、300万の都市圏の中心的な役割を果たしていかないと発展できない。
- 町田市、多摩市、八王子市、愛川町、厚木市を含めると200万～300万の都市になるので、そういう考え方でまちづくりを進めていきたい。
- 今、市長が新しい都市軸を提案しており、この都市軸に向けて新たなまちづくりが進んでいる。

- その1つとして、相模大野から北里を經由して、原当麻を結ぶ新しい交通システムの導入に取り組んでおり、これを10年くらいで何とかしようと思っている。
- また、さがみ縦貫道路のインターチェンジができることにより、原当麻周辺の開発が進むようになる。
- さらに、小田急多摩線の唐木田駅から相模原駅、上溝駅への延伸である。
- これはその地域の人が東京に行くのに便利になるということだけのものでは意味がない。
- JR 横浜線、JR 相模線とつながることによって、人の動きが多面的になることがまちづくりの非常に大きなインパクトになり、新しい都市づくり、周辺のまちづくりが進むようになる。
- さらに、橋本と津久井地域を結ぶ新しい軸によって、当麻や津久井地域の活性化が新たに始まると思われる。
- 本日は道路と交通問題について、生活道路の問題から大きな問題まで様々なお話を聞いた。
- 今後も一生懸命やっていくので、よろしくお願ひしたい。